

【高速道路の延伸、若者の雇用の場の創出について】

D： こちらは、ちょうど平成元年に、高知市の物流関係の協同組合の中から14社ぐらいが手を挙げて、この西南の地に物流力を持ちたいということで、宿毛商工会議所のご指導、県と宿毛市のご支援をいただいて、34社で立ち上げて動き始めた物流です。

その後、バブルがはじけて、需要が減退する中、現在、31社で回っているところでございます。

やはり問題点は、これからこの土地で世帯を持って、子どもを育ててやっていこうという若手の人口は非常に少なくなりつつあるんじゃないかなというところなんです。若者が県外流出をして抜けていくということが、地域の経済に影響してくることが非常に危惧されます。

また、今、愛媛のほうで宇和まで松山自動車道が開通をしており、宿毛から大体3キロ近くのところまで高速自動車道が前進をしてきているということで、そっちが先になれば、この市場は宿毛、愛媛などそれぞれ商社が展開し始めるということになり、この西南地区で商流の戦いが始まることになってまいります。まずは、この四万十市から平田まで来ておる高規格道路で結構ですから、この宿毛までこの産業の道をつなげていただきたい。そして、若手の労働力の雇用の創出を県のほうで取り組んでいただきたい。やっぱり、若い購買力がある方々が地元へ定着しないと、こちらの西南市場は衰退してくるということになります。

私どもとしては、高知自動車道の延伸と、それから若手の定着ができるような雇用の創出という2点を、お願いしたいと考えております。

知事： 道の話は先ほども申し上げましたけども、とにかく一生懸命やっていきますので。

正直、高速道路と、高規格自動車道とか、そういうものを伸ばしていく、一部現道も活用するとかいろいろしながらも、実質「8の字」になっていくようなルートというのをいかに作っていくかというのがポイントだと思います。

時間のかかることですが、仰ったように、松山、愛媛のほうから先に整備が進んで、その地域間競争になると負けてしまう。高知県は、高速道路の整備率も4県の中でもずば抜けて低い、一番下なものですから、そういう意味においてもこの加速化を図っていくということは重要だと思います。一生懸命訴えを続けていきたいと思っております。

少なくとも窪川まで来れば、だいぶ様相は変わってくると思いますが、物理的に実際完成するまでにすごく時間がかかります。道路の整備はどんどん進めていきますが、事業費がいくらあっても物理的に時間がかかるっていうことをにらんで、やっぱりそれまでの間の暫定対応というのをとらなければいけないと考えています。

特に医療の分野では、今年度中にドクターヘリをもう1機追加して、救急搬送は空を飛ぶということを考えて進めています。道路がないというハンディキャップのもとでも、どうやっていくのか、ハンディ、非常に厳しい道のりではありますが、例えば幡多地域

で相当の強みがある食品加工、例えば水産分野の加工分野などいいところをいかに伸ばすか、そういうことを今一生懸命考えて努力していくことだと思いますね。

若手の定着をとということで雇用の創出を図るべしというのがご指摘ですが、それこそ究極の目的なので、それが手段にはなり得ないと考えます。仕事を作るということは、すなわち経済が活性化していかないといけないということであり、まさに皆様方が高知県に来ていただいたお陰で、雇用の促進が図られている。また、是非、高知県にとどまっていたいただきたいと思いますし、また、欲を言えば皆様方の社業がますますご発展なされ、いただいたようなご指摘にも生かして、我々としても雇用の場の創出を図っていくことかなと思っております。

ただ、その他の部分、一次産業の話とか観光とかそういうことも含めて、全体として如何に仕事を作っていくかということがこの産業振興計画の目指すところですから、それを図っていきます。それと、もう1つ、さきほどBさんのおっしゃった話で、やっぱり地元の仕事に愛着を持つということも重要だと思うんです。ですから、さっきの工場見学とかというお話をいただきましたけれど、若い頃から地元の仕事はどういうものがあるかということ、インターンシップなんかで見せるとか、そういう形で地元に対して、子どもたちに誇りを持ってもらえるようにするというのも、非常に重要だと思っているところです。

毎年毎年50%を超える高校生、卒業生が県外に出て行ってましたが、やっと去年49%になりました。この県外への流れを少しでも変える。ただ、並みのこと、簡単なことじゃありません。高知県の根本をどう変えるかと言うことに、ほぼ等しい話でありますので、それぞれの地域の皆さんにも申し上げますし、特に県職員には強く言っていますが、必死になって本当に経済を活性化する、結果を出すような取り組みを一生懸命やらないといかんのだという話をしているんです。

簡単なことじゃないと思いますけど、努力します。頑張ります。